

## No.1910

4月13日例会 プログラム 「老人福祉と介護保険」 岸本 昌法君

4月20日例会 プログラム 「お墓について」 中原三法堂石材部 部長 妹尾 和明様

4月13日のメニュー ・白身魚のムニエル野菜たっぷりのソース・オニオンライス・スープ・シーズンサラダ・赤&白ワインのゼリー・コーヒー

## 前回（4月6日）例会記録

出席報告	会員総数	38名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	23名	欠席者数	13名	出席率	63.89%	前回補正率	75.00%
	前回補正者	小野君 谷口君								
	欠席者	藤原君 花岡君 東川君 井上君 松王君 宮本君 仲田君 中山君 大久保君 大西君 小野君 谷口君 山田(次)君								

来訪者 石井 奨様（三井造船(株)玉野事業所顧問）

### 会長挨拶

こんにちは。例会出席ありがとうございます。お客様を紹介いたします。三井造船株式会社玉野事業所顧問の石井 奨様です。ようこそいらっしゃいました。後ほど卓話をしていただきます。先日4月1日、三宅幹事と共に岡山南ロータリークラブの創立50周年記念式典、祝賀会に出席しました。参加人数が300人を超える大記念式典でしたが、式典も祝賀会も大変落ちつき看板等も極力少なくしてシンプルに行っていました。さすが50周年ともなるとメンバーの方々も堂々と振舞われていたように思います。我々玉野ロータリークラブも来年40周年記念式典を行います。参考にしたいと思います。以上、会長挨拶と致します。

### 会長報告

- ・本日例会後、理事・役員会を行いますので理事・役員の方はお残り下さい。

### 幹事報告

- ・新宮ガバナー事務所より、「ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)」の案内が届いております。5月27日(日) サンルートホテル米子にて講演の後、中海でクルージング体験です。参加対象者：各クラブ推薦の14歳以上30歳未満の青少年(男女問わず)
- ・新宮ガバナー事務所より、「能登半島地震災害義捐金」の依頼が届いております。
- ・麻薬・覚せい剤乱用防止センターより「ニュースレター74号」が届いております。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧いたします。

### 委員会報告

- ・親睦・家族委員会(高橋(秀)委員長): <誕生日祝> 白石君 3日 <結婚記念日祝> 中山君 1日、大久保君 3日、島田君 19日、立石君 29日、三宅(一)君 30日

### スマイル・ボックス

- ・富永君 - 石井さんを歓迎して。三宅保昭さんアジサイをありがとう。
- ・三宅(孝)君 - 石井 奨様ようこそいらっしゃいました。
- ・島田君 - 石井 奨様よくいらっしゃいました。結婚記念月。
- ・三宅(照)君 - 石井様ようこそいらっしゃいました。本日早退。
- ・藤田君 - 玉野地区防火協会の件、お話をさせていただきます。
- ・白石君 - 誕生日。
- ・立石君 - 結婚記念月。

### プログラム 「海上自衛隊の現状について」

三井造船(株)玉野事業所顧問 石井 奨様

今から15年前に玉野で護衛艦「はるさめ」を建造した記憶がある方がいらっしゃると思



いますが、私は当時今でいう防衛省から艦装員長として玉野に派遣されました。その後海上自衛隊の色々な部隊指揮官を経験し2年前に退官、三井造船玉野事業所の顧問に就任しました。日本の周辺を見ますと、北朝鮮、中国の問題が大きくなっており、本日は海上自衛官の立場からお話をしたいと思っております。私は防衛大学を卒業後海上自衛隊に入り、米国に留学経験もしました。また今から10年前に米国とBMD開発を進めてきました。2年前に防衛省を辞めましたが当時に知った機密情報は皆さんにお話することはできません。本日のお話は公知となっている事実のみで機密情報は含まれておりません。その辺をご理解いただいております。

北朝鮮は今、ノドンとかテポドンの発射実験をしています。テポドン2というミサイルは射程が3,500kmで日本を楽々カバーしています。さてこのテポドンが万一日本に飛んできた時、防衛省は落とすことができるかということをお話したいと思います。皆さん、落とすことが出来るでしょうか。「YES」or「NO」。答えは最後にお話します。

三井造船玉野では現在バルクキャリアの連続建造をしています。船価は1隻30億円程度です。護衛艦「はるさめ」は15年前850億円でした。イージス艦は1,200億円もします。これら高価な船をいかに我が国のために使用するか、テポドンを撃墜できるのか、といった日本のBMD(弾道ミサイル防衛)の成果についてお話をしたいと思います。

ところで我が国の海上交通の現状ですが、船舶による輸入が7億5000万トン、そのうち中東からの輸入が3割を占めます。海上輸送が総輸入量の99%を占め空輸は1%です。この面でも海上交通の重要性が叫ばれております。また12年前に国連海洋法条約が批准され、排他的経済水域では天然資源に係わる主権的権利、経済活動に関する排他的管轄権が認められています。日本の領土は38万平方キロで世界37番目の広さですが、排他的経済水域では世界7位になり、この広大な海域から出る天然資源は日本のものです。ここで石油が出れば日本のもの、貴重な海域は守らなければなりません。新たな資源が発見されれば将来の発展に期待が持てます。また海洋資源をめぐる紛争によって自由航行が阻害される懸念があり、平時から「海洋の自由」を確保するためにも島嶼の重要性が増大しています。平時における防衛、安全確保は海上保安庁の役目です。竹島、沖ノ島を巡る摩擦についても海上保安庁が対応しますが、防衛省としても常日頃から島嶼防衛について訓練しており、ヘリ搭載護衛艦、イージス艦などは重要な任務についています。

国連海洋法条約では隣国との境界線は両国の話し合いによって決めることになっています。中国が主張する境界線は200m等深線日本の主張する日中中間線より日本側に入っています。中国が開発しているガス田は中間線のど真ん中にあり、今後とも中国との摩擦は避けられないでしょう。中国の防衛費はここ10年莫大に増加しており、10年後には空母を持つであろうとも言われ、防衛省は現在、中国を仮想敵国というような存在と見ています。中国の台頭は世界の脅威になり今後着目していかなければなりません。日本は日米安保を基本として対応するしかないと思います。

さて大変な国、北朝鮮のミサイルノドンは射程1,000km、テポドン1は2,500kmですが、テポドン2は3,500kmで日本全域が射程内に入ります。さてこのミサイルを落とすことができるのでしょうか。2年前のイージス艦は高性能レーダーを持っているので、発射されたミサイルを探知することは出来ました。しかし落とすことは出来ませんでした。空自のパトリオットミサイルでは落とすことは出来てもその確率はせいぜい10%、2発打たれたら1発は落ちてくると思わなければなりません。10年前に日米でBMD共同開発を立ち上げ、海自が新たにSM2というミサイルを発射できるようになりました。正確に言うともまなく出来ます。これなら落とせます。空自のパトリオットで落とせるのは大気圏内ですので、相手が核ミサイルだったらたとえ落としても核被害で日本はダメになります。唯一被害を最小限に抑えられるのはイージス艦のSM2です。これは大気圏外で落とせるので核被害は最小限に抑えられるでしょう。ミサイルを一番確実に叩きのめせるのは発射する瞬間です、発射する前だったら更に確実です。発射する兆候は今では衛星から確実に把握できるようになっています。100%分かります。しかし日米安保体制下でも敵からの攻撃があって初めて動けるので、発射の兆候だけではアメリカも動かないでしょう。

そこで冒頭の「北朝鮮からのミサイルは落とすことが可能か？」の答えは「可能です。いや可能になりました」。

これは大和ミュージアムのポスターです。戦艦大和は長さ263m、幅38m、7万トンに対しイージス艦は長さ165m、幅21m、7,200トン、約1/10の大きさです。「はるさめ」は長さ153mですが、戦艦大和と戦ったらどちらが勝つでしょうか。「はるさめ」は不沈艦と言われた戦艦大和をやっつける力を持っているのです。なぜならば大和には「はるさめ」は見えません。大和の主砲46センチ砲は射程40kmに対し、「はるさめ」のミサイルは100km。大和が「はるさめ」の姿を捕らえる前に撃沈されてしまうのです。

昨日4月5日、大和ミュージアムの隣に呉資料館がオープンしました。私の後輩が館長をしていて写真を送ってくれました。潜水艦の展示もしております。是非一度見学され海上自衛隊の現状を見ていただきたいと思っております。